

# 能楽を楽しむ

講師 加藤眞悟 先生  
能楽師 観世流シテ方 梅若研能会所属  
重要無形文化財保持者(総合認定)

第二十六回  
加藤眞悟

## 明之會

令和六年五月五日(日・祝)  
午後一時三十分始 (午後一時開場)  
於 国立能楽堂



Kato Shingo Meinokai

|    |     |       |
|----|-----|-------|
| 解説 | 表   | きよし   |
| 独吟 | 楊貴妃 | 梅若万三郎 |
| 仕舞 | 邯鄲  | 観世 喜正 |
| 狂言 | 素袍落 | 野村 萬斎 |
| 能  | 定家  | 加藤 眞悟 |

第十一回明之會 加藤眞悟 撮影：前島写真店

舞台出演者自らが講師として能の基礎知識や演目の見所などを画像を見ながらわかりやすく解説。初めの方でも楽しめます。能楽鑑賞二回分チケットつき。

大変お値打ちです！

講義：4月23日・5月14日・6月11日・7月2日 全て(火)

会場：南センター講義室/大広間 13時30分～15時

鑑賞会：5月5日(日・祝) 13時30分～

能 「定家」 加藤眞悟先生他  
狂言 「素袍落」 野村萬斎氏

鑑賞会は現地集合

国立能楽堂 最寄り駅：「千駄ヶ谷駅」「国立競技場駅」「北参道駅」

7月15日(月・祝) 14時～

横浜能の会。演目：「経正」  
体験：謡・小鼓・大鼓のワークショップ

みなとみらいホール 最寄り駅：「みなとみらい駅」「桜木町駅」

【対象・定員】成人・先着24人

【費用】8,000円

(2回の鑑賞代含む)

【申込】3月11日 9時30分～

直接南センターへ

電話申し込みは同日13時～

南センター

045-741-8812  
南区南太田2-32-1



加藤 眞悟

(かとうしんご)先生

三十二年『虎送』、令和三年『和田酒盛』、令和四年『伏木曾我』、  
新作品『新皇将門』(共に梅若万三郎監修)の制作に携わり  
初演のシテを勤める。平成十一年より毎年自主公演「明之會」  
を開催する。「眞誦会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導を  
している。主な披曲『木賊』『鷲』『卒都婆小町』『三輪白式  
神神楽』『恋重荷』『望月』『安宅』『碓』『求塚』『道成寺』『赤頭  
』『石橋』『乱』等。(公財)梅若研能会理事、(一社)復曲能を  
観る会代表理事。(公社)能楽協会東京支部著作権関連委員。

昭和三十三年生。故二世梅若万三郎及び  
三世梅若万三郎に師事。観世流準職分。  
日本能楽会会員(重要無形文化財総合認  
定保持者)。昭和六十二年能楽養成会教  
程修了。平成二十五年新作品『将門』(梅  
若万三郎監修、小林保治作)、復曲能二  
十六年『真田』、二十八年『伏木曾我』

